

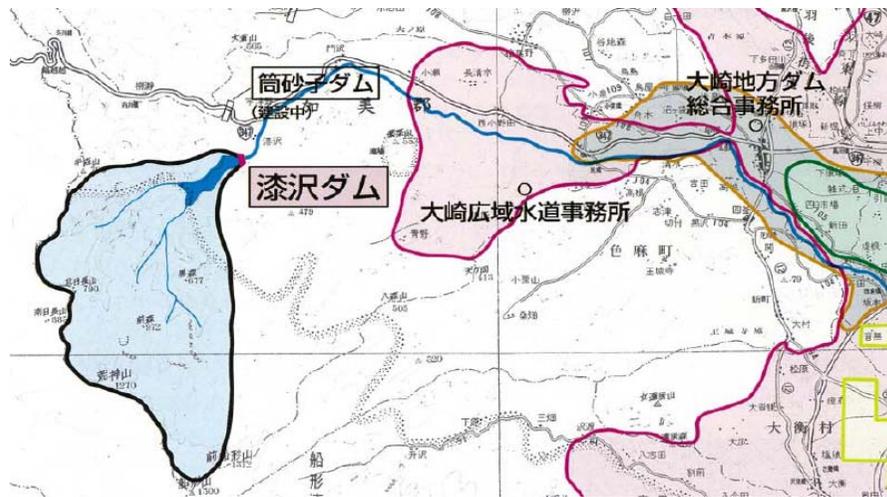
一級河川鳴瀬川水系 鳴瀬川 漆沢ダムの効果(令和元年10月11日~13日)【速報】

宮城県

○漆沢ダムでは、令和1年10月12日~13日にかけて、台風19号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が357mm**、**最大時間雨量では43mmを記録しました**。これによるダムへの最大流入量は、計画650m³/sに対し、**449.18m³/sを記録しました**。

○今回の洪水調節により**最大流入時の66.1%(296.93m³/s)を貯留し**、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



漆沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	12日 20時 30分	終了	13日 9時 10分
・ダム流域累計雨量	357 mm	(11日 21時 ~ 13日 5時)	
・最大時間雨量	43 mm	(13日 0時 ~ 13日 1時)	
・ダムへの最大流入量	449.18 m ³ /s	(13日 1時 30分)	
・最大流入時の放流量	152.25 m ³ /s	(3位/37洪水)	
・ダムによる最大調節量	296.93 m ³ /s	(約 66.1%)	

ダムの状況写真



貯水位 253.46m

(洪水前 10月12日12時30分)



貯水位 266.66m

(洪水後 10月13日5時40分)

漆沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 66.1% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
152.25 m³/s

最大流入量
449.18 m³/s

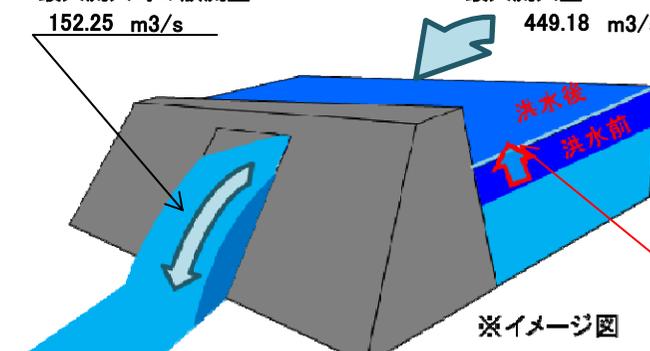
洪水調節開始時の貯水位
255.46 m

洪水調節時の最高貯水位
266.67 m

最大貯留量
5,822 千m³

(東京ドーム約4.7個分, 25mプール約12129杯分)

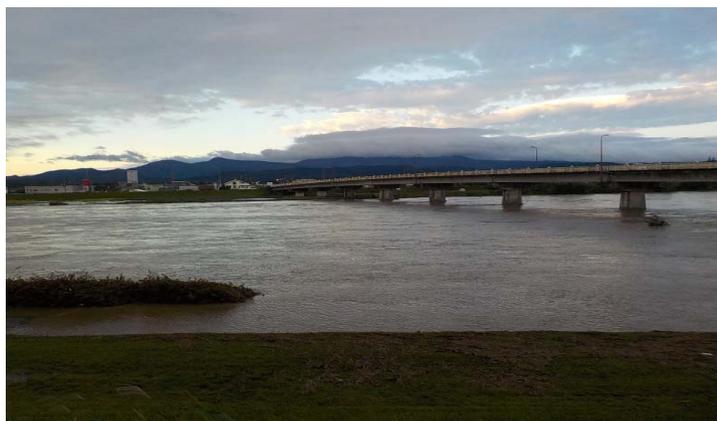
11.21 m上昇



※イメージ図

○漆沢ダムの洪水調節等により、鳴瀬川の中新田地点で、**水位を約0.32m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真



10/13 6:00 水位 5.61m
【洪水後】漆沢ダム下流並柳地点

鳴瀬川(中新田地点)の水位低減効果

